
特集Ⅰ

キャリア教育シンポジウム

ご挨拶

名古屋大学教育発達科学研究科

科長 村上 隆

ただいまご紹介いただきました村上でございます。

日本の中等教育、高等教育は、このところあまりよく機能していないのではないかという話をあちこちで耳にしますが、それに対していろいろな対応がなされていると思います。その中の一つがキャリア教育ということではないかと思っております。

この講演会とシンポジウムは、ただいまご紹介がありました名古屋大学教育発達科学研究科附属の中等教育研究センターが主催するものでありますが、附属中・高等学校の共催、学生相談総合センターの後援の下に行われており、このあたりも名古屋大学全体を挙げてキャリア教育への関心が高まってきているということの証左ではないかと思う次第です。

実際、今年はキャリア教育元年とも言うべき年でありまして、これにはフリーター、無業者といったものが非常に増加している中で、中等教育、高等教育機関として、学校から職業への移行をどのようにスムーズにしていくのか。そのための活動が必要になってきているという意味で重要だと思っております。

本日の基調講演者の西 孝雄様は、「私の辿ったキャリア形成」というタイトルでお話をいただくわけでありませけれども、いろいろな職業体験をされてこられた方でございます。その点で、キャリア教育ということだけではなくて、キャリア発達という面からも大変興味深いお話をいただけるのではないかとと思っております。

引き続き行なわれますシンポジウムでは、愛知労働局から水野職業安定部長をお迎えしております。それから、ドイツのデュアルシステムの権威である本研究科の寺田教授。教育現場でキャリア教育を実践されております愛知県の教員の伊藤先生。それから、附属学校の石川先生を交えまして、今後どのようにキャリア教育に取り組んでいくかということが議論されるものと聞いております。

どうぞ皆様、やや長丁場になりますけれども、基調講演とシンポジウムを十分にお楽しみいただければ幸いです。ご清聴ありがとうございます。